



片頭痛と新しい予防薬の登場



15歳以上の日本人を対象とした調査によると、約4割が頭痛持ちと言われており、もはや国民病とも言えるほど頭痛は身近なものになっています。その中でも片頭痛は、年間有病率8.4%（約1000万人以上）と推定され、かなり患者数が多い疾患です。元ハンドボール日本代表の宮崎大輔さんも20年以上に渡って片頭痛に悩まされていた1人です。最近になってこの片頭痛に今までにない予防薬が登場しました。今回はこの新しい片頭痛予防薬について紹介します。

片頭痛が起こる仕組み

はっきりとした原因は今も分かりませんが、大きく3つの仕組みが推定されています。

■ 血管説

片頭痛の予感時に一時的に収縮した脳血管がその後拡張することで症状が生じるというもの。

■ 神経説

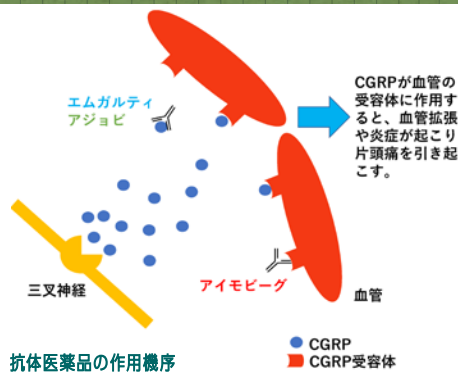
大脳神経細胞の過剰な興奮が原因であるというもの。

■ 三叉神経血管説

脳の神経である三叉神経への刺激により周囲の脳血管に炎症を引き起こすというもの。

新しい片頭痛予防薬

CGRPは、三叉神経が何らかの原因で刺激を受けると過剰に放出され、脳の血管拡張作用や神経の炎症を引き起こすことが報告されていま



す。新しい片頭痛治療は、CGRPそのものにくっついて無力化したり、CGRPの受け取り窓口（受容体）をブロックすることで効果を発揮する治療方法です。これを抗体医薬品といい、2023年1月現在、3品目が発売されています（エムガルディ・アジヨビ・アイモビーグ）。

これまでの片頭痛治療は薬を毎日服用する必要があり、効果の個人差が大きく、副作用で継続が困難になるケースもありました。これに対して今回の抗体医薬品は、注射製剤であり、毎日の服用が必要ありません。また、今までの薬で効果不十分だった症例に対しても有効性と安全性が報告されています。

■ 抗体医薬品の特徴

製品名	エムガルティ	アジヨビ	アイモビーグ
効能・効果	片頭痛発作の発症抑制		
使用方法	皮下注射 1か月間隔、1本ずつ (初回2本)	皮下注射 4週間隔、1本ずつ または 12週間隔、3本ずつ	皮下注射 4週間隔、1本ずつ
作用機序	CGRPに結合して、CGRPを無力化する		CGRPの受容体に結合して、CGRPをブロックする
費用(1本あたり) ※2023年1月時点	44,943円 3割負担:13,483円	44,943円 3割負担:13,483円	44,943円 3割負担:13,483円
注意点	使用基準あり(厚生労働省が定めるガイドラインあり) 18歳未満は使用不可 妊娠中や授乳中は慎重投与		

今回紹介した抗体医薬品による治療は、頭痛診療に精通している医師がいる医療機関で受けることができます。もしも長引く頭痛でお困りなら、一度医療機関を受診して相談してみるのも良いでしょう。

【参考サイト】

- Hitoshi M et al. What is migraine? "resolving general misunderstandings with the latest knowledge". B. Edu. Health Sci.
- Mamoru S. Novel migraine treatment with CGRP-related monoclonal antibodies. Rinsho Shinkeigaku (Clin Neurol). Vol. 60.
- Mulleners WM et al. Safety and efficacy of galcanezumab in patients for whom previous migraine preventive medication from two to four categories had failed (CONQUER): a multicentre, randomized, double-blind, placebo-controlled, phase 3b trial. Lacet Neurol. Vol. 19, 814-825, 2020668-676, 2020
- 一般社団法人日本頭痛学会